



42.6^{km}の進化を
今、そして未来へ



令和7年1月17日
国土交通省中部地方整備局
北勢国道事務所

— 記者発表資料 —



国道1号 北勢バイパス (市)日永八郷線～国道477号バイパス

令和7年3月16日(日)
に開通します

・開通式典等の詳細は、別途お知らせします。

1. 開通区間の概要

【別紙1、2】

開通区間：国道1号 北勢バイパス

(市)日永八郷線～国道477号バイパス(延長4.1km)

三重県四日市市山之色町～同市曾井町

開通日：令和7年3月16日(日)

2. 開通により期待される主な効果

効果① 新たな南北道路軸への交通転換により渋滞緩和！

【別紙3】

効果② 防災拠点間ルートを複数確保し、
地域の災害に強いネットワークを構築！

【別紙4】

効果③ 新たな出勤・搬送ルートを形成し、消防・救急活動を支援！

【別紙5】

効果④ 交通転換により、通学路の安全性が向上！

【別紙6】

3. 配布先

三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、桑名市政記者クラブ

4. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所

副所長 田中 勝 計画課長 小里 大輔 電話 059-363-5511

つながる中部42.6

令和6年度開通する各道路事業の整備効果や開通に向けての進捗状況など積極的にPR



2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステムの実現を目指す

World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered NETwork



■事業概要

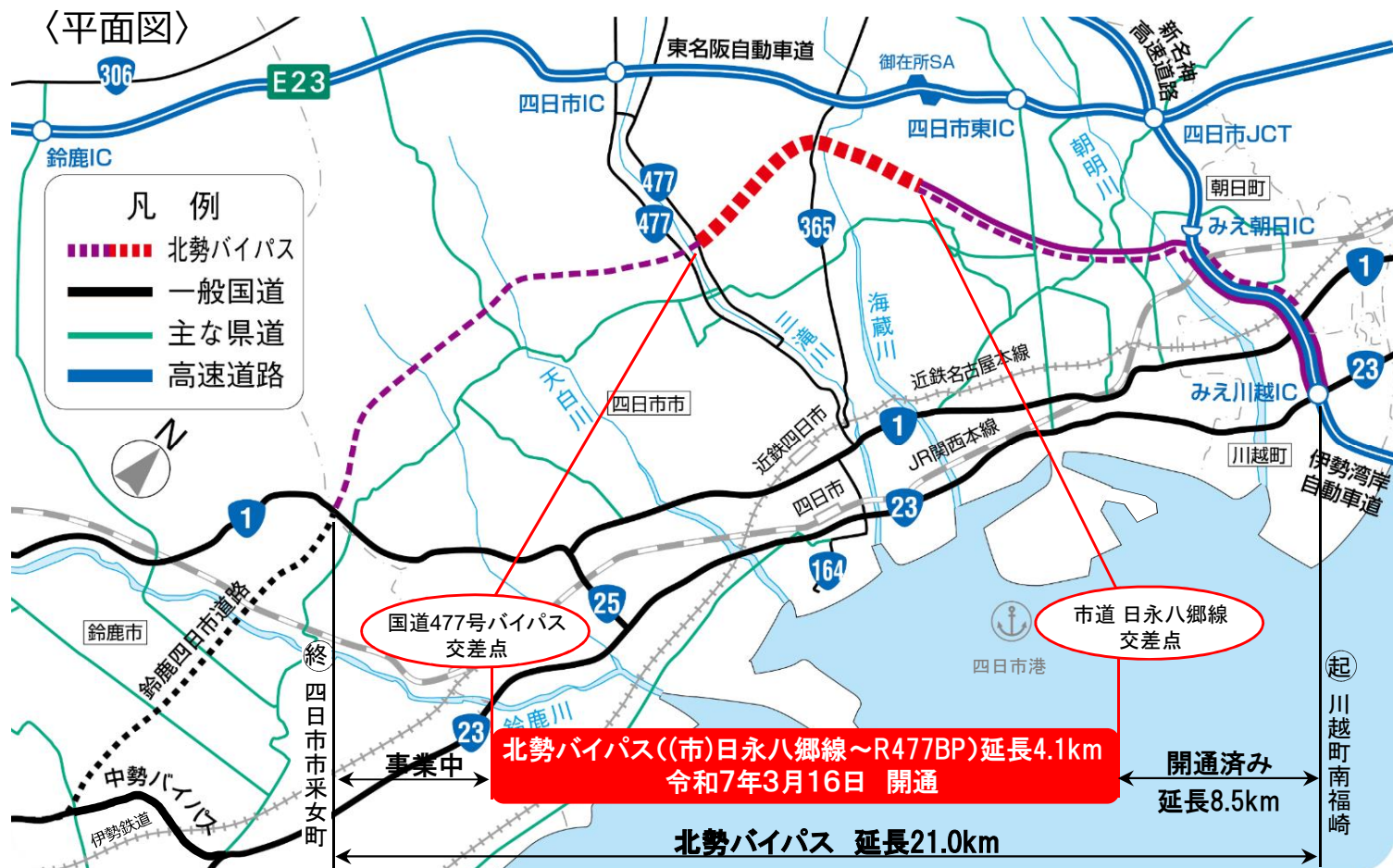
国道1号北勢バイパスは、三重郡川越町南福崎（国道23号）～四日市市采女町（国道1号）に至る延長21.0kmの幹線道路です。

北勢バイパスの整備により、四日市市内の国道1号、国道23号等の渋滞緩和、災害に強い道路機能の確保及び地域活性化の支援等の効果が発現が期待されます。

現在、みえ川越IC～市道日永八郷線までの延長8.5kmが開通済みです。

今回の開通により、北勢バイパス21.0kmのうち12.6km（約60%）が開通となります。

〈平面図〉



◆開通区間の概要◆

①今回開通区間：国道1号 北勢バイパス

(市) 日永八郷線（三重県四日市市山之一色町）～
国道477号バイパス（三重県四日市市曾井町）

延長4.1km（暫定2車線（上り・下り各1車線））

② 開 通 日：令和7年3月16日（日）

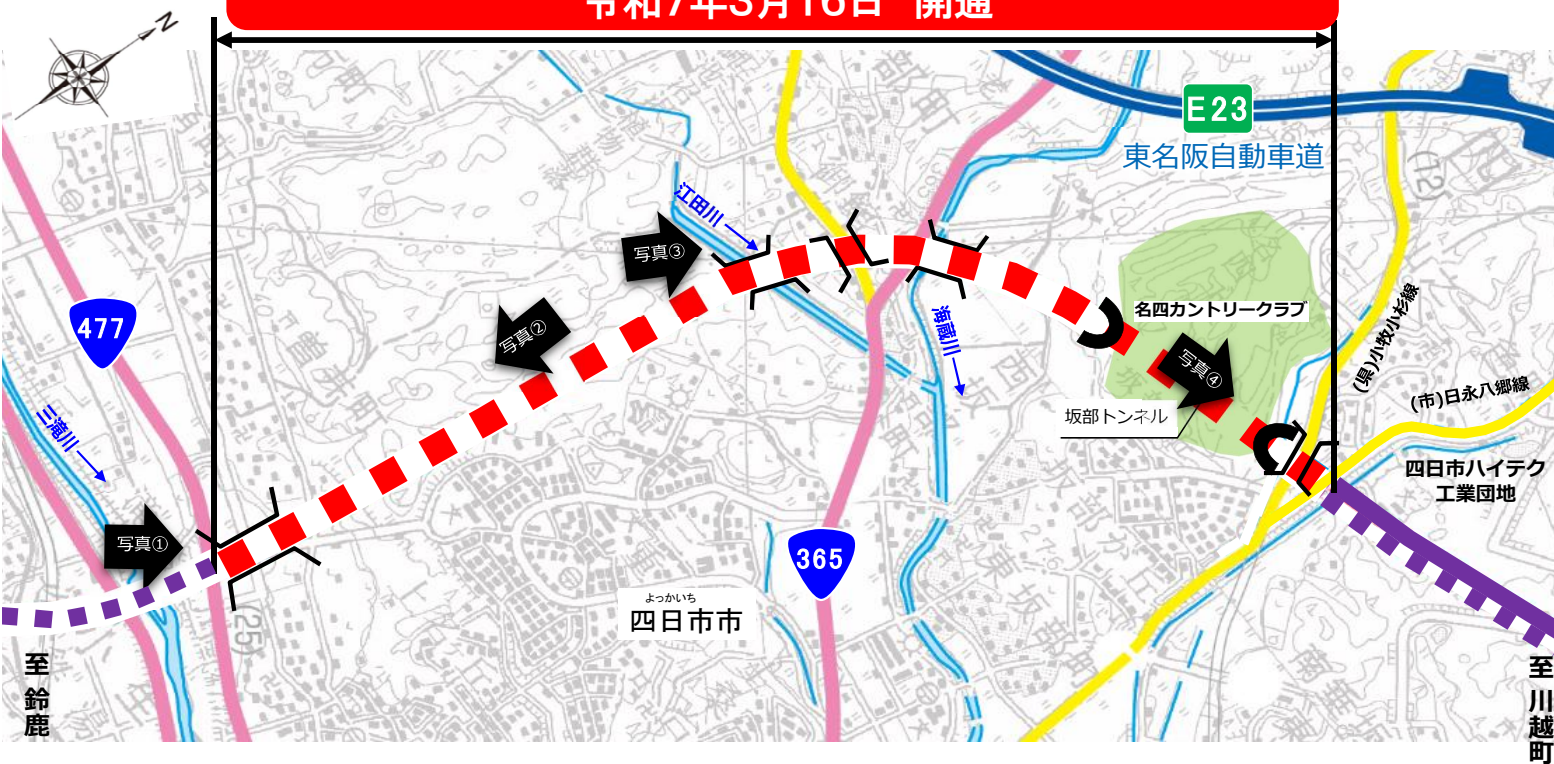
北勢国道事務所ホームページにおいて開通特設サイトがオープン
工事進捗状況や整備効果などを紹介しています。

(<https://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/kaitsu/>)



■開通に向け、現在、トンネル設備工事、舗装工事などを進めています。

ほくせい ひなが やさと
北勢バイパス((市)日永八郷線～国道477号バイパス)延長4.1km
令和7年3月16日 開通



写真①国道477号BP交差点



写真②曾井地区



写真③御館地区



写真④坂部トンネル



新たな南北道路軸への交通転換により渋滞緩和！

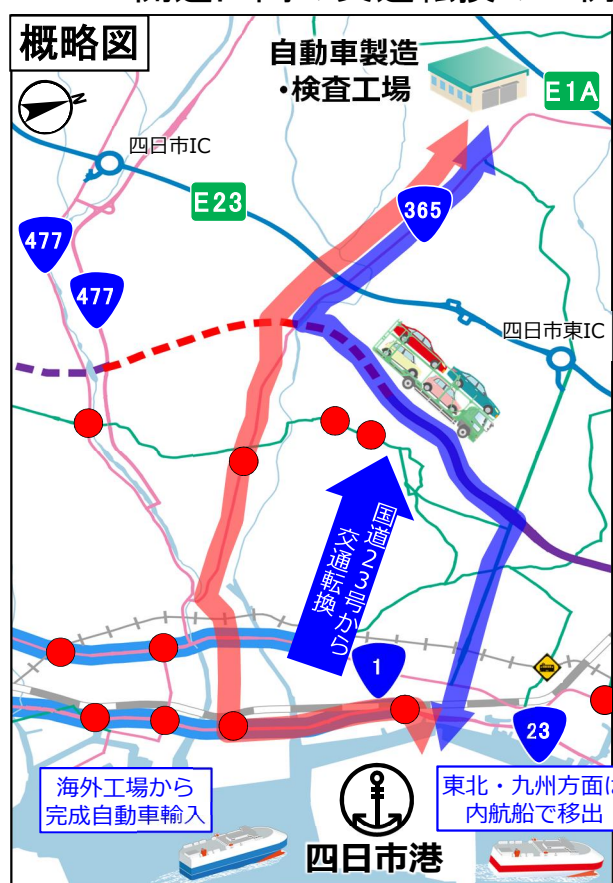


- 四日市市内の国道1号、国道23号では、通勤・生活・物流等の交通が混在し、朝夕通勤時間帯を中心に著しい渋滞が発生。
- 北勢バイパスの整備により、新たな南北道路軸が形成され、現道からの交通転換が図られ、渋滞緩和に期待。

■北勢バイパス全線開通時の交通転換



■R7.3.16開通区間の交通転換の一例



凡 例	
--- (red dashed line)	: 令和7年3月16日開通区間
--- (purple dashed line)	: 北勢バイパス未開通区間
--- (purple solid line)	: 北勢バイパス開通済区間
--- (black dashed line)	: その他事業中路線
--- (blue solid line)	: 高速道路
--- (pink solid line)	: 国道
--- (green solid line)	: 主要地方道
● (red circle)	: 主要渋滞箇所
--- (blue solid line)	: 主要渋滞区間
--- (blue dashed line)	: 全線整備後の想定ルート
--- (pink solid line)	: 現状のルート

■自動車製造・検査企業の声

海外工場で製造された完成自動車を国内販売用に納品前整備事業を行っており、海外からは名古屋港に約3割、四日市港に約7割の比率で輸入されており、2023年は約1万2千台が四日市港に輸入されました。

現在、工場と四日市港間の一般道の経路選択肢が限られており、完成車の輸送中に渋滞に巻き込まれてしまうと、迂回に時間がかかったり身動きが取れなくなる恐れがあります。輸送経路の選択肢が増えることで安定的な物流機能の維持が期待できます。



※自動車製造・検査企業ヒアリング結果より

凡例 ➡ (blue dashed line): R7.3.16開通後の想定ルート ➡ (red solid line): 現状のルート

防災拠点間ルートを複数確保し、災害に強いネットワークを構築！



- 三重県では、災害発生時における全国からの広域応援部隊や緊急物資輸送車両、DMAT等が迅速に目的地に到達するための「緊急輸送道路ネットワーク計画」を策定。
- 第1次緊急輸送道路の国道1号と国道23号は、四日市市沿岸部で南海トラフ巨大地震による津波浸水想定域と重なり、沿岸部の緊急輸送機能が途絶する恐れがある。
- 北勢バイパス整備により、津波浸水想定域を回避可能な防災拠点間ルートが複数確保され、沿線地域の災害に強いネットワーク構築に寄与。

■北勢バイパス周辺の緊急輸送道路・防災拠点等



※1 出典：三重県 緊急輸送道路ネットワーク計画（令和6年2月）
 ※2 出典：三重県 平成25年度三重県地震被害想定調査

■大規模災害時の物資支援の流れイメージ

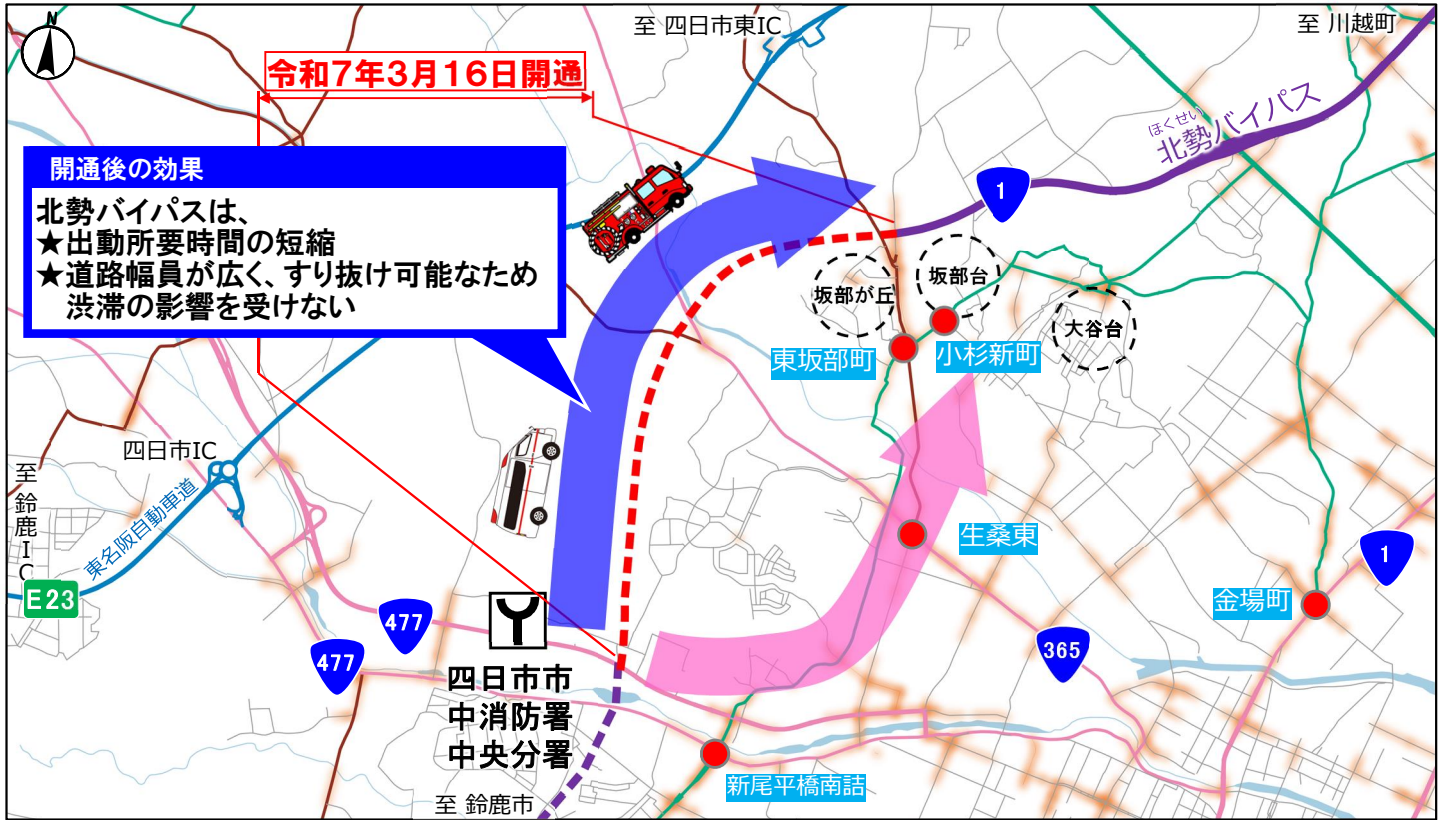


新たな出動・搬送ルートを形成し、消防・救急活動を支援！

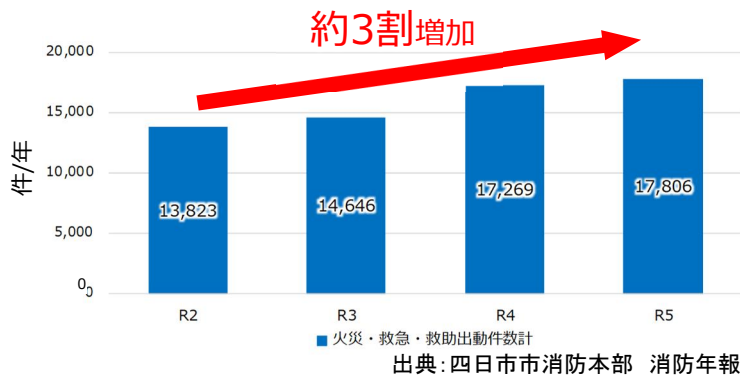


- 四日市市において、火災・救急・救助件数が令和2年から令和5年にかけて約3割増加。
- 北勢バイパスの整備により、現場まで主要渋滞箇所を回避する新たな出動・搬送ルートが形成され、所要時間が安定的に短縮。

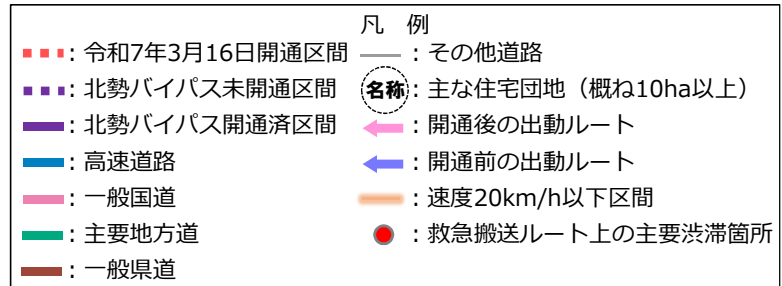
■ 四日市市消防本部から坂部地区周辺への出動ルート



■ 火災・救急・救助合計件数の推移

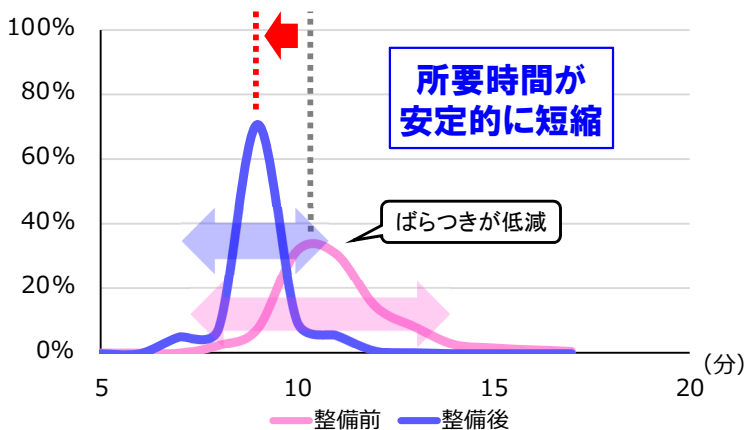


※地図上の走行ルートは、出動経路を概略的に示した一例です
 出典：ETC2.0プローブデータ 令和5年10月 17時台実績



20km/h以下を混雑・渋滞と定義 引用：国家公安委員会 告示第12号

■ 時間帯別所要時間のばらつきの変化



出典：ETC2.0プローブデータ 令和5年10月 時間帯別平均旅行速度分布
 ※走行時間は、消防署から団地までの想定ルートで算出
 北勢バイパスの未開通区間は北勢バイパス既開通区間実績を使用

■ 四日市市消防本部の声

北勢バイパスが新たに開通することで、交通渋滞の緩和に繋がり、災害現場や医療機関へ向かうルートの選択肢が増え、災害現場までの到着時間や救急現場から医療機関到着までの時間短縮が期待されます。



※消防本部ヒアリングより

交通転換により、通学路の安全性が向上！

- 北勢バイパス周辺の小学校では、朝夕の時間帯に主要幹線道路の混雑を避けるため、バイパスに並行する道路(通学路)に抜け道利用交通が流入。
- 北勢バイパスの整備により、南北方向に通り抜けていた抜け道利用交通がバイパスへ転換することで、通学路の安全性向上に期待。

■北勢バイパスに並行する市道の抜け道利用交通の利用経路



出典：抜け道利用交通は、ETC2.0プローブデータ 令和5年10月 平日の利用実態分析結果及び地元小学校へのヒアリング調査結果から

■市道を通り抜ける交通状況



■近隣学校の声

小学校周辺の主要幹線道路は、東西方向はある程度選択肢がありますが、南北方向の選択肢が少ないため、生徒が通学する朝と夕方時間帯において、生桑東交差点で混雑が発生しています。

生桑東交差点の混雑を避けるため、通学路に指定されている学校周辺の細い道路に抜け道利用交通が多く混在しています。

北勢バイパスの整備により、国道365号と国道477号バイパスを南北に結ぶ主要幹線道路が増え、生桑東交差点の混雑緩和が図られれば、通り抜け利用交通の減少が図られ、通学路の安全性向上につながることを期待しています。

※小学校ヒアリング結果より

